

# 神崎町第5次総合計画

基本構想 2021→2030

前期基本計画 2021→2025



A watercolor-style illustration of a large tree with a character sitting in its hollow. The character has a green bushy head, a white beard, and is wearing a purple tunic. In the background, a small village with houses and a bridge is visible under a blue sky with birds.

# 小さな町の 生き生きわくわく プラン

KOZAKI

NEW CENTURY PLAN

概要版



A line drawing illustration of a village scene. It features traditional Japanese buildings with tiled roofs, a large tree with falling leaves, a bridge over a river, and mountains in the background.

千葉県神崎町  
令和3年3月

# はじめに

この度神崎町は、令和3年度を初年度とする、新たなまちづくりの総合的な指針である神崎町第5次総合計画を策定しました。

悠久の流れ利根川とそこに息づく歴史や文化のもと、私たちが暮らしている今の神崎町は、先人たちが町の将来を願い、種をまき、水を与え、力を合わせて育ててきたものです。

これから10年後を想像したとき、我々のふるさと神崎町はどのようになっているのでしょうか。

今、神崎町では、少子高齢化が与える影響、人口減少対策、進む担い手不足など、様々な課題が山積しています。これらはどれも、町の根源に関わる重要な課題です。

子どもを産み、安心して育てていける町

町の宝である子ども達に、故郷の良さを伝え、活力ある教育のできる町

人の流れが生まれ、元気な産業が育ち、生き生きと仕事に励む町

歳をとっても家族や友人とともに笑顔で暮らしていける町

小さくても中身はぎっしり詰まった魅力的な町

明るく希望に満ちた神崎町の未来を次の世代に繋ぐためには、我々一人ひとりが気概を持ってまちづくりに取り組まなければなりません。

この「神崎町第5次総合計画」は、これから未来の神崎町の設計図です。

そして、多様化する社会情勢や様々な課題に柔軟に対応し、住民主役のまちづくりを進めるための共通目標となるものです。

まちづくりコンセプトとして掲げた「生き生きわくわく 人も発酵するまち こうざき」

“人も町もわくわくする気持ちを持ち続け、様々な変化に対応し変わり続け、そして成長していく”

その実現のため、産業、福祉、環境、防災、教育、行財政のすべての分野において、誰もが生き生きと暮らしていけるふるさとづくりにまい進していく所存でありますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画書策定にあたりご尽力いただきました神崎町総合開発審議会委員をはじめ、貴重なご意見やご提言を賜りました皆様に対し厚く御礼申し上げます。

令和3年3月 神崎町長 椿 等





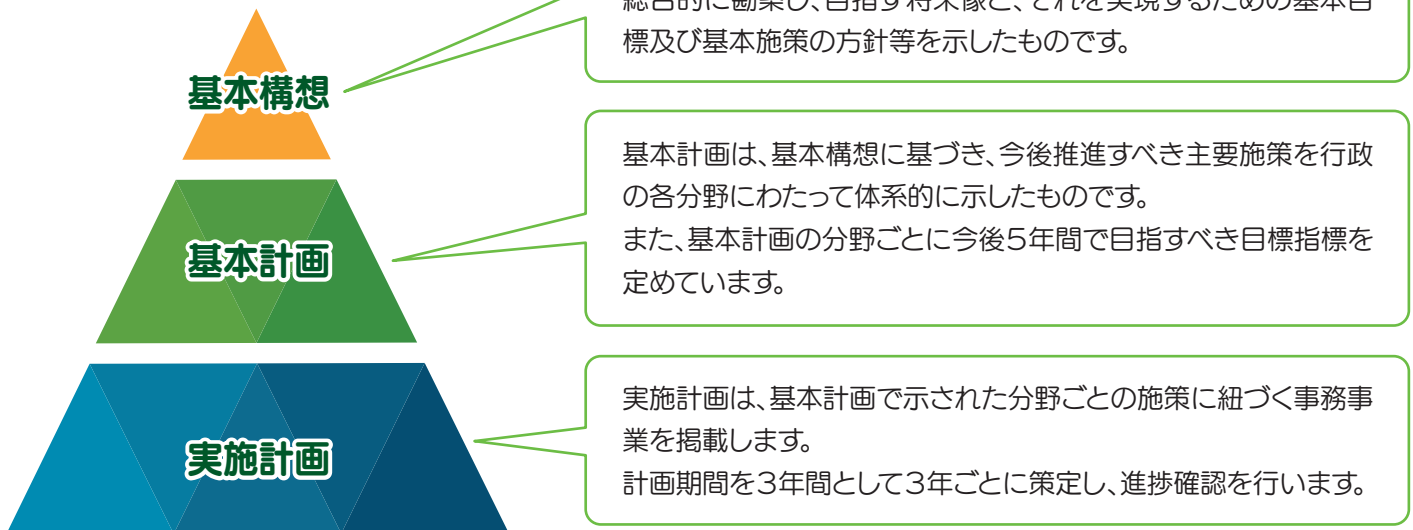
## 計画策定の背景と目的

市町村総合計画は、自治体におけるまちづくりの基本的な計画であり、目標に向かって施策・事業を行っていくための指針となるものです。

これからの10年間は、人口減少がさらに進む可能性があり、公共施設等の老朽化も進みます。限られた財源で計画的かつ効果的に公共サービスを展開するために、総合計画を定めます。

## 計画の構成と期間

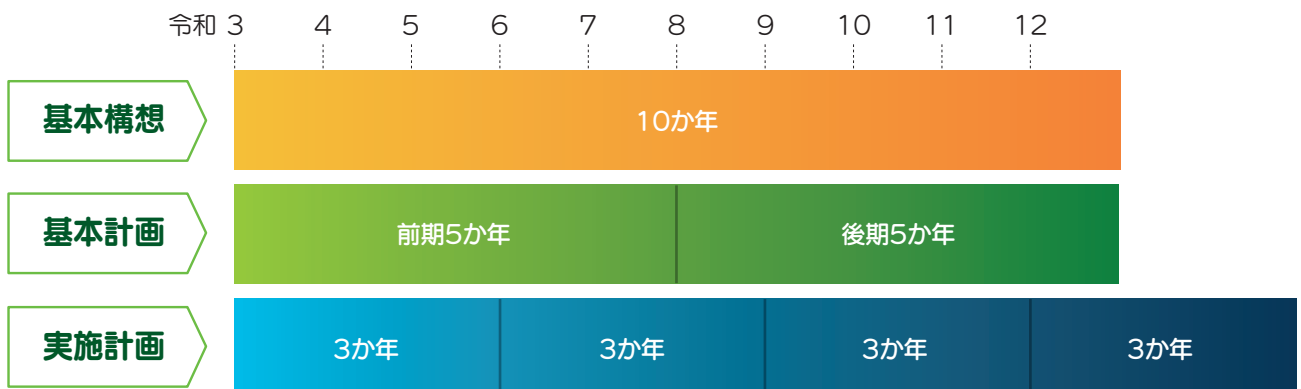
### (1) 計画の構成



### (2) 計画期間

計画期間は、基本構想を10年間、基本計画を前期・後期の5年間ずつとします。

計画開始から4年目と5年目で後期基本計画の見直しを行うとともに、必要に応じて基本構想についても見直しを行うか検討することとします。



# 基本構想

## 神崎町のこれから

### まちづくりコンセプトと戦略

#### まちづくりコンセプト

生き生きわくわく 人も発酵するまち こうざき  
～ 今より一歩前へ そして、次世代へのバトンパス ～

「道の駅 発酵の里こうざき」は、平成27(2015)年に重点道の駅に登録されて以来、多くの人に利用されるようになりました。

「発酵」というキーワードをもとに、全国各地の発酵食品などを取り扱い、発酵体験なども行われ、地元の酒蔵の協力も得ながら地元住民にも「発酵の里」が浸透し、評価されてきました。

この間、想定よりも本町の人口は減少傾向で推移し、空き家や空き地が目につくようになり、子どもの数も減少しています。

この先10年間、私たちの住む神崎町は、道の駅を中心とした周辺整備プロジェクトが進行していきます。一方で、風にそよぐ農地を覆う緑の海が私たちのふるさとの変わらぬ光景として残っています。

10年先を見据えて、子や孫たちに、誇るべき神崎町を残していくために、住民とともにまちづくりを推進していきます。

#### 3つのまちづくり戦略



##### 子育て世代にやさしいまちづくり

- ・子育て支援サービスの見直し・充実
- ・子どもを産んで暮らしたくなる環境づくり



##### ハイウェイオアシス

- ・神崎IC周辺の開発
- ・道の駅の集客力強化



##### 発酵の里づくり

- ・「発酵」を統一テーマにしたまちづくりの推進
- ・誰もが生き生きと住み続けられるふるさと(発酵の里)づくりの推進

+ Society5.0によるスマート自治体への転換(検討項目)



# 前期基本計画

## 10年後に目指す目標

### (1) 地域産業の持続的発展支援

5年後・10年後の農業を見据えた取組として、農地保全や担い手の確保、スマート農業の促進を図り、収益性の高い農業へと変革するべく支援していきます。また、商工業についても持続的な経営支援を図りつつ、道の駅周辺整備やハイウェイオアシスの整備と合わせて既存事業者の活性化を促進します。観光においては、「発酵」をテーマとした取組を推進し、町内各所への誘客を図ります。

農業の振興	1 5年後・10年後の農林業を見据えた取組 2 収益性の高い農業の推進	3 スマート農業の推進
商工業の振興	1 持続的な経営に向けた支援 2 町内消費喚起の取組	3 道の駅拡充(ハイウェイオアシス)と企業立地の推進 4 特産品・販売力強化の推進
観光の振興	1 ハイウェイオアシス整備事業 2 町内各所へ誘客する取組	3 発酵をテーマとした観光振興 4 外国人観光客への対応

### (2) すべての世代に優しい福祉施策の充実

高齢者、障害者(児)、子どもの福祉など、各福祉分野での課題を横断的に取り組む体制を整備し、関係機関と相互の連携を強化します。子育て支援センターによる相談・支援体制の強化や、高齢者や障害者などの交通弱者対策など、住民の声を聞きながらきめ細かな福祉施策を推進していきます。

地域福祉の推進	1 分野横断的な取組の推進 2 支え合う意識の醸成と人づくり	3 地域福祉を担う団体等の育成・支援
健康づくりの推進	1 各種健康診査、がん検診の充実 2 若い世代からの健康診査の実施 3 運動習慣の定着 4 心の健康づくり	5 むし歯予防の知識の啓発 6 母子保健事業の推進 7 食物アレルギーの正しい知識の啓発
子ども・子育て支援の充実	1 子育て家庭への経済的支援 2 安心して子どもを産み育てるための環境づくり 3 はつらつとした子どもの発育を支える保育環境づくり	4 子どもたちの健やかな成長を支援する環境づくり 5 障害のある子どもに対する支援の充実
高齢者福祉・介護の充実	1 認知症に優しい地域づくり 2 地域づくりの積極的な参画 3 相談援助支援体制の充実	4 交通弱者対策 5 介護医療に関する情報提供体制の整備 6 介護サービス提供事業者との連携
障害者福祉の充実	1 福祉サービスの充実 2 保健・医療サービスの充実 3 交流・社会参加の促進	4 生活環境の整備 5 理解・啓発活動の推進
社会保障体制の充実	1 国民健康保険の健全・適正な運営 2 後期高齢者医療の健全・適正な運営 3 国民年金の啓発・相談活動の推進	4 社会的絆の深化 5 低所得者福祉の充実 6 最低限度の生活を保障

### (3)生活の質を高める環境の充実

住民生活を送る上で欠かせない社会インフラ(道路・交通・ごみ・水道等)については、多額の維持更新費用がかかる見込みです。生活に必要なことから優先順位を決めつつ、計画的な取組に努めます。

土地の有効利用	1 調和のとれた土地利用の推進 2 神崎IC周辺の整備 3 JR下総神崎駅周辺の整備	4 わくわく西の城の拠点化 5 優良農地の保全
道路・公共交通の充実	1 神崎パーキングエリア(仮称)の設置 2 計画的な道路網の整備 3 身近な道路の整備・充実	4 道路ストック対策の推進 5 公共交通等の利便性の向上
ごみ・環境問題への対応	1 ごみの不法投棄の防止 2 環境汚染や公害発生の防止 3 残土条例の遵守	4 二酸化炭素の発生抑制 5 ごみの適正な処理 6 3R(リデュース、リユース、リサイクル)運動の推進
上水道の整備	1 強靱な水道供給体制の構築 2 神崎パーキングエリア(仮称)への対応	3 廃棄物から資源への転換
住環境・公園等の維持・確保	1 公園の管理・整備 2 移住・定住の推進	3 住宅環境整備の支援 4 災害に強いまちづくり

### (4)緊急時対応への備えの充実

2019年に本町は台風15号によって大きな被害を受けました。全国各地で大地震や気象災害が起こり、2020年の新型コロナウイルスの社会的影響はかつてないほどの先行き不安を与えました。本町は比較的災害が少なかったものの、こうした気象条件等の変化への対応を着実に進めていくこととします。

消防・防災体制の充実	1 消防体制の充実	2 防災・減災体制の充実
防犯・交通安全対策の充実	1 防犯活動 2 パトロール 3 通学路の安全対策の強化	4 交通安全活動 5 交通安全施設の整備

### (5)教育のまち・神崎の推進

児童・生徒の数が減少する中、本町の学校生活を楽しく有意義に過ごせるように環境整備に取り組んでいきます。また、本町には酒蔵まつりをはじめ、お祭りやイベント、文化的行事がたくさんあります。郷土の歴史や文化を知るためにも、また、住民の郷土愛を育むことにもつながることから、生涯学習のまちづくりを推進します。

学校教育の充実	1 学力向上と一人ひとりのきめ細やかな教育の推進 2 学校施設の改善・整備	3 相談体制の強化 4 学校の適正規模や学校運営のあり方を検討
生涯学習の充実	1 町民が参加しやすい生涯学習の推進 2 図書室サービス・活動の推進	3 子ども会・青少年相談員事業について
生涯スポーツの充実	1 スポーツ活動の推進、スポーツ施設・設備の充実	2 スポーツ団体の組織力強化、指導者の育成 3 福祉との連携
芸術・文化活動の支援	1 芸術文化活動の推進及び若手指導者、リーダーの育成	2 文化財の保護・保存・伝承 3 郷土の歴史、文化に親しむ活動の推進
多文化共生社会の実現(男女共同・人権等)	1 それぞれの組織と連携した推進 2 人権対策の推進	3 人権対策 4 地域間交流活動の推進



## (6) 明るく前向きな行財政運営の推進

本町は今後人口が減少することが予測され、これに伴い財政的にも運用が厳しくなることが予想されます。事業等の改廃や規模の見直しなども行いながら、小さな町だからこそできる機動力のある創意工夫に満ちた行財政運営に努めます。

広報・広聴の充実	1 「広報こうざき」の充実 2 町ホームページについて 3 情報発信について	4 PRキャラクター「なんじゃもん」の活用 5 広聴活動の充実
住民主役のまちづくりの推進	1 住民の声のまちづくりへの反映 2 住民主役のまちづくりの推進	3 ボランティア活動の支援
機動力のある健全な行財政の推進	1 業務改革の推進 2 職員の人材育成と定員管理 3 民間活力及びICT(情報通信技術)の活用推進	4 健全財政の確立 5 公共施設等の総合管理
情報通信基盤の整備	1 地域情報化の推進 2 情報の安全性の確保	3 Society5.0への取組の推進

## 3つのまちづくり戦略

### (1) 子育て世代にやさしいまちづくり

#### ① 子育て支援サービスの見直し・充実

経済的支援については、費用対効果を検証し、効果のあるものについては継続実施していくとともに、効果の低いものについては事業の見直しを図っていきます。

また、子育て中の保護者等からニーズを把握し、事業化に向けた検討を定期的に行っていくこととします。



#### ② 子どもを産んで暮らしたくなる環境づくり

子育てしやすい町として、町単独で行っている子育て支援事業を広く内外にPRする手法について検討するとともに、住宅、教育、保健・医療等の関係機関との連携を今まで以上に充実していきます。

### (2) ハイウェイオアシス

#### ① 神崎IC周辺の開発

神崎ICの利便性や集客力が飛躍的に高まることが予想されることから、神崎IC周辺への企業進出等も予想されます。

本町の豊かな自然環境や景観を損なわないような開発行為を支援していくとともに、本町の住民にとってもメリットのある企業誘致や土地利用を推進していきます。



#### ② 道の駅の集客力強化

神崎パーキングエリア(仮称)併設に伴い道の駅の滞在時間の延長が図れるように、子どもが遊べる施設をはじめとし、施設の拡充を進めるとともに、ソフトコンテンツの充実を図ります。特に、「発酵」に関する商品については、全国各地の発酵商品を取り扱っていることから、関係自治体・企業等と連携し、イベント等の企画やわかりやすい商品紹介を行っていきます。

また、道の駅に訪れる人については、SNSやブログ等で道の駅自体や商品・サービスの紹介をしてもらうような仕掛けをつくり、人が人を呼ぶようなマーケティング戦略を立案していきます。さらに、訪問客の属性をビッグデータ分析等で調べ、効果的な広告・宣伝なども行い、関係人口の増加につなげていきます。

## (3)発酵の里づくり

### ①「発酵」を統一テーマにしたまちづくりの推進

「第2期神崎町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」では、発酵マラソンの推進や発酵体験、発酵定食による地域活性化など様々な取組みを発酵によるまちづくり推進事業として掲げています。

庁内における組織横断的な「発酵」をテーマにした取組みを推進するとともに、住民や関係機関と連携した取組みを推進していきます。



### ②誰もが生き生きと住み続けられるふるさと(発酵の里)づくりの推進

「発酵の里こうざき」は私たちのふるさとです。私たちが目指すのは、進学や就職で神崎から離れた子どもたちが帰りたくなるふるさとづくり、歳をとっても家族や友人や思い出とともに元気に楽しく暮らしていけるふるさとづくりです。産業、福祉、生活環境、防災、教育、行財政運営のすべての分野において、誰もが生き生きと住み続けられるふるさと(発酵の里)づくりを推進します。

## (プラス1) Society 5.0 によるスマート自治体への転換

費用対効果を検証しつつ、試用期間等も考慮しながら、慎重かつ迅速に導入すべき項目は導入していくこととします。

下表は、総合計画策定過程において、職員自らが、自らの担当分野においてこうした最新技術を活用することを想定した検討テーマを抽出しました。

スマート農機の導入	キャッシュレス決済	地域通貨や地域ポイント制度	健康ポイント	遠隔診療
見守りサービス	買い物・配達システム	介護ロボット	MaaSや自動運転	産業用ドローン
ビジネスチャット	予約システム	リモート生涯学習	チャットボット	ウェブ会議システム



## 神崎町第5次総合計画概要版

～ 小さな町の生き生きわくわくプラン ～

発行日：令和3年3月

編集・発行：神崎町まちづくり課

〒289-0292 千葉県香取郡神崎町神崎本宿163番地

TEL：0478-72-2114 FAX：0478-72-2110

URL：<https://www.town.kozaki.chiba.jp/>

